

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 奈良市立都跡こども園 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒630-8325  
奈良県奈良市四条大路五丁目2-55

E-mail kg-miato@city.nara.lg.jp

Website \_\_\_\_\_

幼児児童生徒数 男子 77 名 女子 81 名 合計 158 名  
幼児・児童・生徒の年齢 3歳～5歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

### (1) 活動の概要

当園は、園の教育目標を「身近な環境とのかかわりの中で主体的に活動し、創造性豊かな幼児を育成する」として、子ども自ら遊びを創る、仲間と共に育ち合う、保護者や地域と共に歩む園づくりを目指している。ESDの実践を通して、考えてやり抜こうとする力・生き生きと自分を表現する力を育成していく。具体的には、①自分たちの町を知り、世界遺産を大切にしようとする気持ちを育む取組、②奈良鹿愛護会へドングリを寄付する取組、③『あいさつ強化デー・クリーンデー』の取組、④栽培・食育の取組、⑤視察による国際交流の取組を行った。

#### ① 自分たちの町を知り、世界遺産を大切にしようとする気持ちを育む取組

本園は、天平文化の花開いた平城京の中央に位置し、西には秋篠川、南に唐招提寺や薬師寺、北には平城宮跡に復元された大極殿や朱雀門など、歴史環境に恵まれた地域にあります。年間を通して自分たちが住む町を知る機会をつくり、園外保育にでかけることで、昔から大切に守られてきたことを知り、奈良の町や伝統文化を大切に思う気持ちが育ちました。

#### ② 奈良鹿愛護会へドングリを寄付する取組

鹿は冬になると食べ物がなくなる話を聞き、子どもたちと話し合った結果、鹿のために自分たちでドングリを集めようということになり、全園児が集めたドングリを鹿愛護会に寄付する活動を行っています。ドングリは、事前に平城宮跡へ園外保育に出かけて集めたものや各家庭から持ち寄ったもので、ホルンの音を聞いて一斉に集まってくる鹿の群れの迫力に感動し、自分の手にのせた

ドングリを鹿が食べている様子を喜んでいました。この取組をテレビ局が取材され、子どもたちの思いや行動がたくさんの人に広がってほしいと思っています。

### ③『あいさつ強化デー・クリーンデー』の取組

月に1回、PTA主催で園周辺に立ち、保護者と子どもたちに積極的にあいさつをして、人とのつながりを感じ、進んであいさつをする大切さを再確認できるよう取り組んでいます。登園時に通園路を親子でゴミ拾いをしながら、拾ったゴミをPTA協力のもと、玄関の専用ゴミ箱に分別して回収します。自分たちの住んでいる町をきれいにし、奈良の町を誇りに思う子どもたちに育てるという世界遺産学習や、ゴミ分別を通して環境教育につなげています。

### ④栽培・食育の取組

地域にお住まいの野菜作りに詳しい方にアドバイスをいただきながら様々な野菜を栽培しました。特にトマト（品種：リリコ）の栽培では、夏休み中も含め、親子で世話をしたり、収穫したりしました。子どもたちと相談し、収穫できたトマトを給食業者をお願いして、トマトを食材に使ったハヤシライスを作っていただき、地域の方を招いてリリコパーティーを開きました。パーティーをするにあたっては、招待状をかいたり、子どもが企画・運営に関わり、主体的に進めることができました。感謝の気持ちを伝え、自分たちで育てたものを食べる喜びを存分に感じることができました。

### ⑤視察による国際交流の取組

昨年に引き続き、韓国や台湾から視察に来られたり、新たにフィンランドからも視察に来られました。地球儀を使って世界の国々に関心をもち、国旗やハングル文字などを描いたり、外国語を調べて進んで挨拶をしたりして、親しみを感じ、生き生きと表現する姿がありました。世界に目を向けて自ら行動することができ、異文化に親しみをもったり、コミュニケーション能力を育むグローバル教育につながりました。

写真①：世界遺産を大切にする取組



写真②-1：鹿を大切に守る取組



写真② - 2： 鹿を大切に守る取組



写真③： 環境教育に関する取組



写真④： 栽培・食育の取組



写真⑤： 視察による国際交流の取組



(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他（自由記述 園の教育課程に位置付け、行事等で実施 ）	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

取組の実施日は、年度初めに年間行事に位置付けて計画し、指導計画にも、活動内容・援助・環境構成等の項目に明記している。当日の実施計画では、さらに具体的な計画書を作成し、実施後は、職員全体で振り返りをし、反省評価を記入して、次年度につなぐようにしている。
---

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

地域や保護者を巻き込んで、ともに子どもの成長を喜び合える関係を大切にしながら、活動を進めていくようにしています。
--

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

園職員による反省・評価はもちろんのこと、学校評議員、地域コーディネーターの方から評価をいただき、取組に活かしている。ボランティアの方もご紹介いただき、様々な人とのつながりが広がっている。いつでも気軽に園にお越しいただき、情報共有を行ってきた。園内だけでなく、園外の地域や世界の人との関わりを大切に、コミュニケーション能力を身に付けることにつながった。また、様々な取組において、子どもたちが主体となって進めていけるようにしてきたことにより、主体性や、考えてやり抜く力、表現力が育った。
---

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

園だより、学年だより、クラスだより等の配布物や、園環境の写真掲示物、ホームページ掲載による発信を行ってきた。幼稚園からこども園に移行したこともあり、年度当初は、新しいホームページの検索方法がわからない保護者もあったが、啓発を繰り返すことで、ホームページをみてくださる方が増えた。
---

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

活動を通して、豊かな経験の積み重ねができ、人とのかかわり、環境への関心、あきらめない粘り強さなど、子どもにつけたいと考えている力を育むことにつながった。

（3）平成30年度の活動計画

引き続き、様々な分野で継続実施し、新たな成果を見出していけるよう取り組んでいきたい。